

令和4年5月19日  
(資料提供)

(事務担当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 総合研究部 病害虫防除室 直通：257-6972
---

## 令和4年度病害虫発生予報第2号について

今後発生が予想される水稲、大豆、果樹、野菜・花きの病害虫の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

1 予報期間 5月下旬～6月中旬

2 予報内容

(1)水 稲

**葉いもち**の発生は**並**と予想される。本田に放置された補植苗は伝染源となるので、直ちに除去する。箱施薬していない場合は6月中旬に予防粒剤を散布する。発生を認めた場合は初期の防除を徹底する。

(2)大 豆

**ネキリムシ類**の発生は**やや多**と予想される。は種時の防除を徹底する。

(3)果 樹

**カキ炭疽病**の発生は**やや多**と予想される。感染しやすい徒長枝および不定芽を除去する。降雨前後の薬剤防除を徹底する。

**ハマキムシ類**の発生は**やや多**と予想される。発生初期の防除を徹底する。

(4)野 菜

**スイカ褐斑細菌病**の発生は**やや多**と予想される。大雨は本病の発生を助長するので、ほ場排水に努める。発病初期の防除を徹底する。

**アブラムシ類、アザミウマ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

**ネキリムシ類**の発生は**やや多**と予想される。は種時又は定植時の防除を徹底する。ほ場およびほ場周辺の除草をこまめに行う。

**コナガ**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

※ 防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。

また、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。